

第三学年家庭科学習指導案

平成17年6月29日(水)

指導者 T・K

1 題材名 幼児の成長と発達

2 指導計画 (17時間)

ねらい	おもな学習活動	おもな評価の観点	時間
幼児のからだところの発達について理解する。	VTR や資料をもとに、幼児の身体面・機能面・情緒・社会性・言葉の発達について知る。	自分の幼いころや身近な幼児と結びつけるなど、具体的イメージをもって理解しようとしているか。() 幼児の発達について理解しているか。()	3
幼児のこころの発達と生活習慣の獲得との関わりを理解する。	幼児が生活習慣を身につけることの意味と、自我の芽生えや自立性・について知る。	生活習慣を獲得しやすいよう、どんな環境の整え方が考えられるか。() 幼児にとって生活習慣を獲得することにどんな意味があるかを理解できたか。()	1
幼児の発達と遊びの持つ役割について理解する。	幼児にとって生活の全てが遊びであり、遊びの中でさまざまな発達を遂げていることを知る。	自分の幼いころや身近な幼児と結びつけるなど、具体的イメージをもって理解しようとしているか。() 幼児にとって遊びの持つ役割について理解しているか。()	1
幼児と直接触れ合うことで学習した幼児の発達についての理解と、自分自身の幼児に対する心情的理解を深める。	保育所訪問で行う遊びについて計画を立てる。 訪問し、遊ぶ中で、今まで学習したことを想起し、理解を深める。 振り返りの中で、自分の学びに気づく。	・具体的にどのようにして遊ぶかをイメージして計画することができたか。() ・子どもとうまく関わることができたか。() ・具体的な場面と今までの学習内容を結び付けて考えることができたか。()	2
幼児への接し方について大人に近い立場から考えてみる。	ロールプレイを通して幼児への接し方を考える。	役割に取り組むことができたか。() よりよい接し方を考えることができたか。()	1 / 3 本時
幼児の食生活について理解を深める。	幼児期の栄養的特徴と消化機能面での特徴について知る。	幼児期の栄養的特徴と、消化機能面での特徴について理解できたか。()	2
幼時に適した手作りおやつを計画し、調理実習する。	幼児に不足しがちな栄養素を補う手作りおやつを考え、調理する。	幼児の立場に立って計画を考えることができたか。() 美味しく調理することができたか。()	3
幼児を取り囲む環境について考える。	育児の援助の問題・虐待の問題をもとに、幼児の成長発達を誰がどのように支えていけばよいかを考える。	自分に近づけて考えることができたか。() 家庭・地域・行政・医療など、さまざまな立場からの支援体制について考えることができたか。()	2

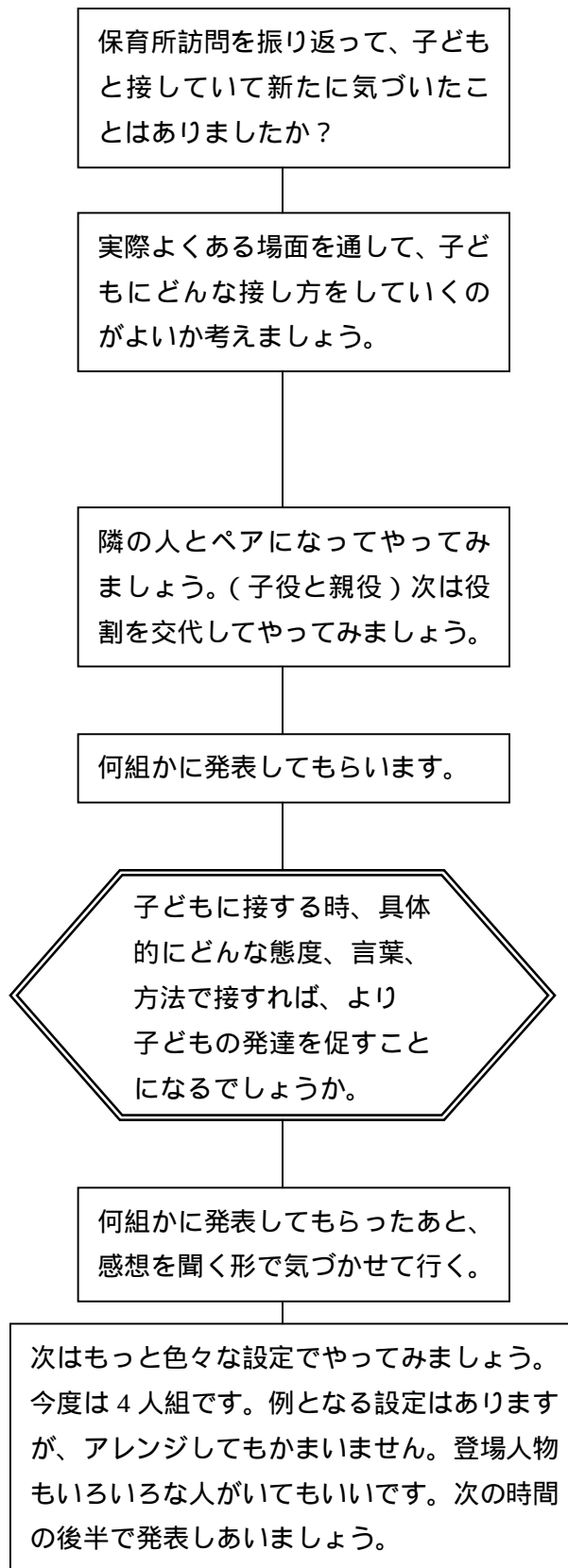
3 指導にあたって

本時の内容は、いままで「幼児の生活習慣の獲得」のなかで扱ってきたが、実際に子どもたちに触れてみない状態ではイメージがわかず、具体的に考えられない生徒が多かった。そこで、今回は保育所訪問の後に設定し、ロールプレイの手法を取り入れて考えさせてみたいと計画した。

中学生という立場は、大人でもなく、子どもでもない。しかし、前時の保育所訪問により、保護される立場から、保護する立場へと変わってきていることを実際に幼児の小ささ、幼さに触れることで実感し、または自分の幼いころの場面を想起できるようになってこの時間に臨んでいる事だろうと思われる。

家庭科では、ほとんどの場合そうであるが、たった一つの正解が存在するわけではない。しかし、どの場面でも、よりよい方法は考えられるし、何を重視するかによって何がよりよい方法になるかが変わっていく。今回生徒が取り組む課題もそうである。おもちゃを買ってと駄々をこねる幼児にどう接すればよいか、という課題の答えは幼児の年齢や発達段階によってもちがってくると考えられる。また、生徒の生活経験によってさまざまな解決方法が紹介されることだろうが、それらを否定することはその生徒の成育状況を否定することにもなりかねないので、一概に否定しないよう、留意したい。その中でもよりよい方法を探すためにおさえるべき最も大事なことを、生徒の言葉から紡ぎだしていきたいと思う。さらに、もっと色々な状況を設定しての、応用編（4人グループ）も準備し、親以外の周りの人の接し方についても具体的に考えさせたいと計画している。

4. 本時の流れ



こんな言い方では理解してもらえない。
こんなことを言っても子どもには通じない。など。

例題

今日はヨークに買い物に行きます。「でも、おもちゃは買わないよ。」という約束をした親子。ところがいざ店に行ってみると、子どもは駄々をこね始めました。さて、あなたがその親なら、どんな風に対応しますか。
結果的に買うか買わないかはお任せします。

予想される反応

- ・ 怖い存在を持ち出す。
- ・ 放ったらかし。
- ・ 引きかえ条件を出す。
- ・ 何とか言葉で言いくるめようとする。
- ・ 違うことに注意を向けて忘れさせる。
- ・
- ・

気づかせたいこと

たった一つの正解はないが、

- ・ 子どもを一個の人格として認める姿勢
- ・ 養育する立場として無責任に放置しないこと、
- ・ ある程度の年齢になったら納得させる
- ・ 誰かのせいにしない子育ての姿勢
- ・